

下関市立大学

マイスター制と共創力教育による就業力育成

取組概要

本取組は、人・モノ・知の交流拠点である「下関」において、「共に創り上げる力」の向上を目指す共創力教育の推進を図り、その上に効果的な専門科目パッケージの履修を促すことで、就業力育成の充実を目指し、もって本学が目的とする有為な人材を輩出しようとするものである。具体的には、現代を生きる社会人として必要な幅広い教養と深い洞察力を養う教養教育、また、「基礎演習」をはじめとする各種演習、組織目標に向かって「共に創り上げる」体験を行う「インターンシップ」等による「共創力教育」、学生が将来進みたい道を意識しながら専門的知識を修得していく「就業力マイスター制度」を柱とする就業力育成である。本取組を通じて、継続的にアンケートを実施することにより、就業力向上や学生の職業選択に繋がる要因は何かを分析し、今後のカリキュラムやキャリア教育等に活用するとともに、「新・就業力」を開発し、その育成を図り、広く提唱する。

キャリア教育科目の履修

学生の自主的活動支援

共創力教育

- 教養教育
- インターンシップ
- フィールドワーク

人・モノ・知の
交流拠点

大学生の 就業力育成

- ✓ 内定率維持・向上
- ✓ 留年生の減少
- ✓ 離職率低下
- ✓ 企業満足度の向上

就業力 マイスター制

- 就業力パッケージ
- 内定後教育
- 実習教育

アンケート分析による新・就業力開発

企業・卒業生